

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	適切である。 シンプルな支援室でスペースも確保しやすい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	適切である。 こどもの状況を把握しやすく、職員同士が連携取りやすい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	全てにおけるバリアフリーは室内構造や物件によって一定の制約があるため困難な場合がある。支援室は構造化され、十分な動線の確保が可能である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	日々の清掃や除菌を日課にしており、記録表もあるため問題ない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じ気持ちの切り替えやカームダウンの空間が設けられている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	朝礼昼礼終礼、研修など定期的なミーティングにより職種に関係なくフラットに情報を共有し業務改善にチーム一丸となって取り組んでいる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者の意見を傾聴し、柔軟に議題にあげ検討している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	定期的なミーティングやアイデアの発信など機会を積極的に設けている。様々なツールを活用し互いのシナジーを促している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	保護者へのアンケートは定期的に設けている。外部評価に関しては必要に応じ検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	全職員が東京都主催や行政による研修など積極的に参加し、自己研鑽に励み資格取得を応援している。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	HPやSNSを通して公表し積極的に発信に努めている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	各職員からの意見を取り入れ過去事例や様々なケースと照合し、冷静な課題分析を心がけ計画を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	児童発達支援管理責任者が旗振りを行い、全職員が積極的に意見や知見を互いに出し合い計画を作成している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	厚労省や子ども家庭庁によるガイドラインを熟読し、支援計画を立てより有益な活動プログラムの作成を行っており今後も引き続き支援の充実を図る。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	都度変化するニーズや状況の聞き取り・把握をし、情報の共有を促す。今後も引き続き情報共有をし、更なる支援の充実を目指す。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	定期的な話し合いの場を設けており社会性向上に向け周囲との調和を大切にしながら今後も引き続き支援の充実を図る。本人支援に限らず成人後を想定し地域移行や連携の重要性を見すえ計画を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	チームで行っている。児童発達支援管理責任者が中心となり旗振りし有資格者による様々な関係者が参加している。今後も事業所一丸となって立案促す。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	固定化によるメリットも勘案し、都度必要に応じて検討する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	カリキュラムによって準個別、小集団など柔軟に支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	職員が各自のアイデアや知見を持ち寄り、日々の気づきをファイルにてまとめている。常に取り返しおおよび共有できる状態で共有し今後も安全管理をチームワークを徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	朝礼昼礼終礼を日々徹底している。業務日誌以外のツールでも情報共有を図っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	朝礼昼礼終礼を日々徹底している。また職員によって資質が偏らないように業務日誌以外のツールでも情報共有を図っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	適切な見直しと同時に、モニタリング時では活動内容の記録や実例をあげて説明し得意不得意の判別や必要なスキルの向上を都度見直して勘案している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	ガイドラインの周知徹底、職員同士で読み合わせを行い知識向上に努めている。支援する際は柔軟に組み合わせをしている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	安全安心の運営を心がけ、将来の自立や就労を視野に入れつつ社会性の向上と並行し本人の意思決定を尊重し支援を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	学校や相談支援、様々な福祉資源との連携を取り入れている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	当事業所では重度心身障がい児や医療的ケアを要する利用者はいないため必要に応じて都度検討する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	契約面談時やモニタリング面談の際に、事前に学校の年間行事表の写しを提出を依頼している。連絡調整に応じない保護者に関しては都度面談にて必要性を説いている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	都度変化するニーズや状況の聞き取り・把握をし、情報の共有を促す。今後も引き続き情報共有をし、更なる支援の充実を目指す。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	必要に応じて検討する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	必要に応じて検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	現状多くの保護者から希望の声がなく、今後検討を重ねる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	行政主催の研修や講義に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳や様々なツールを活用し成長を可視化している。密な連携を心がけ、互いに理解を深めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	必要に応じて検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約面談時では読み合わせは勿論、詳細説明を紙資料や具体的な例や実物を提示して懇切丁寧に説明し議事録を取っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談や連絡帳もしくは電話連絡など、保護者からのニーズや家庭での様子を詳細に聞き取り意向を確認している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	面談時に詳細説明を行っている。また保護者の思いをくみ取り傾聴し、同意を得ている。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談に応じ面談では活動のフィードバックや学校での様子など、面談に限らず来所時や電話・メールにて連携を図っている。今後も引き続き連携を図る。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者間による強い希望の声は現状無く、過度な交流を避ける場合もあるため個々の世帯の考えを尊重し都度検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情の際は対応している。また行政への報告など都度詳細に行い、ケースごとに記録している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	HP更新やSNSの発信は個人情報に留意し、連絡体制の充実を図っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	保管場所や破棄に関するルールを徹底している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	各自のニーズや状況の聞き取り・把握をし、情報の共有を行っている。また今後も引き続き情報共有をし、支援の充実を図る。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	美術の授業を通し商店街など地域のイベント（秋祭りなどハロウィン、クリスマス）に積極参加している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	有事や火災を想定した訓練の実施や研修を行っている。また活動にも取り入れ、内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCP策定には職員同士の周知徹底、非常食の保管場所や消費期限など確認している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	通所開始前での契約時保護者へ指示書の有無を確認している。緊急連絡網やフェイスシートの提出必須であるため保護者からの正確な情報提供を事前確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	通所開始前での契約時保護者へ指示書の有無を確認している。緊急連絡網やフェイスシートの提出必須であり、おやつ提供時には本人への聞き取りを行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	各職員が気づきを都度報告書作成しており、ファイルにてまとめて管理している。常に読み返しおよび共有できる状態で共有し今後も安全管理を徹底を目指す。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	面談や連絡帳での密な連携や、相談支援など福祉資源を介しての情報共有に努めている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	過去の事例の共有やルールの見直し含め、策定や訓練の実施を定期的に行なっている。ファイリングをし職員に共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的な社内研修や、時事ニュースを周知徹底し自己の意見やアイデアを共有する機会を朝礼時に設けている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	定期的な社内研修や、時事ニュースを周知徹底し自己の意見やアイデアを共有する機会を朝礼時に設けている。また契約面談時に保護者へ詳細説明している。